

自主防災組織の保持状況について

Q 大きな災害が発生した時、消防署や消防団だけでは手が回らない場合、地域の助け合いが必要です。いざという時のために、各自治区で「自主防災組織」をつくり、普段から地域の防災力向上への活動が期待されることです。

そこで、自治区内における「自主防災組織」の組織状況について教えてください。

- ① 自治区で自主防災組織を保持している **39%**
- ② 自治区で自主防災組織は保持していない **43%**
- ③ わからない **17%**

💡 自主防災組織を保持していない自治区も多いことから、地域の防災力を高めるため、自主防災組織の設立をご検討ください。
市では設立にあたって助言も行いますので、ぜひご相談ください。

地域の防災意識を高めましょう。

防災アンケートを実施しました

市内の自治区長、代表区長及び自主防災会長に対して、防災に関するアンケートを実施しましたので、その結果についてご紹介します。

アンケートの概要

実施目的

自治区長等の防災に関する認識、自治区等の防災への取組みの状況を把握するとともに、地域の防災力の向上に資するため


アンケート対象

自治区長、代表区長、自主防災会長 合計…363名

実施時期

令和4年6月下旬～7月25日

260名の方々に
ご回答いただきました!



知っている安心!

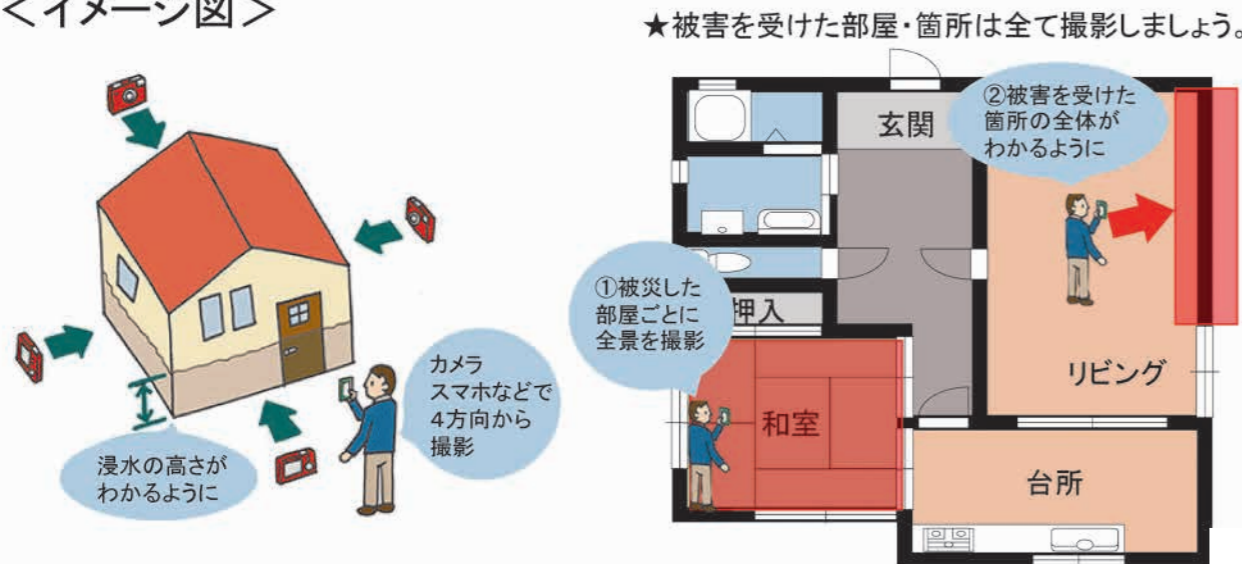
災害で住まいが被害を受けたときは…

家の被害状況を写真で記録しましょう

片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。罹災証明書を取得して公的な支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際に、たいへん役に立ちます。

💡 ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。

<イメージ図>



<内閣府「住まいが被害を受けたとき最初にすること」より引用(一部改変)>

自治区等における避難行動要支援者の把握状況について

Q あなたの自治区等内に、高齢や障がいなどにより単独では避難できない世帯について、どの程度把握していますか？


- ① 自治区で避難時に支援が必要な世帯の名簿を作成し把握している **4%**
- ② ①の名簿は作成していないが、近所づきあいから概ね把握している **49%**
- ③ 一部は把握しているが、大部分は分からない **36%**
- ④ 全く把握していない、分からない **10%**

💡 避難行動要支援者について、「把握している」「概ね把握している」を合わせ、約半数となりました。

担当地区内の緊急情報の連絡手段について


Q 担当自治区内の世帯に対して、避難等の緊急情報を伝えるための連絡手段は、どのようにしていますか？ (複数回答可)

班長から各世帯へ連絡



43%

区長が電話か訪問



27%

特に連絡手段はない

28%

- 電話連絡網 8%
- ラインやメール 3%
- その他 3%

💡 区内等への緊急情報の連絡手段について電話による連絡が主体で、ラインやメールによる連絡は少数でした。また、約3割が「特に連絡手段がない」との回答でした。

問【防災アンケートに関すること】 消防交通課 ☎43-2119 ☎43-4214
【罹災証明書に関すること】 税務課 ☎43-8193 ☎44-9411